

タイトル：『汐製菓会社の新作』  
今川焼 4』

---

【登場人物】

- ・ 汐（30代・男性）…汐製菓会社の社長。アイデア豊富で楽観的な性格。
- ・ 塩田（30代・女性）…汐の秘書。真面目で心配性だが、どこかところで汐の奇想天外なアイデアに巻き込まれてしまう。
- ・ マーケティング部長（40代・男性）…現実主義者のマーケティング担当者。冷静で論理的。
- ・ 試作担当者（30代・男性）…汐の無茶な要望に従い、商品を作り上げる職人。

・ 国内外の試食客…様々な国から集まる  
ゲストたち。彼らの反応が物語の鍵を  
握る。

### 【あらすじ】

社長・汐の突飛なアイデア「ビーフシチュー味の今川焼」が発案され、周囲を巻き込んで無謀な企画が進行する。反対する塩田やマーケティング部長を尻目に、汐は国内外での試食会を計画。ビーフシチュー今川焼は果たして人々に受け入れられるのか？ 世界中の人々の反応を通じて、汐の奇抜な企画は予想外の方向へ進展していく。

### 【シナリオ】

#### 第一幕…発案と反対

(オフィス。汐が会議室のホワイトボードに  
「ビーフシチュー今川焼」と書きながら、得意  
げに振り返る)

汐：「次の新作は決まったぞ！ ビーフシチュ  
ー味の今川焼だ！」

塩田：「……ビーフシチュー？ 今川焼に、で  
すか？」

汐：「そう！ 甘いだけじゃつまらないだろ  
う？ これで一気に市場を変えるんだ！」

塩田：(呆れながら)「でも、今川焼って、甘い  
ものだっていうイメージが強いですよ。ビーフシ  
チューって…それ、食べる人いるんですか？」

汐：「食べるさ！ 塩田、考えてみるよ。モチモ  
チの生地の中に、あの濃厚なビーフシチューが  
入ってるんだぞ？ 想像しただけでヨダレが出  
るだろ？」

塩田：「いえ、むしろ胃が…うつ、もたれそうです。」

（汐がホワイトボードに「面白きことも無き世を面白く」と大きく書き足す）

汐：「この世の中を面白くするには、常識を破らなきゃいけないんだよ！それが汐製菓の使命だ！」

塩田：「社長、それは分かりますが…ビーフシチューの今川焼って、誰も求めてない気が…。」

汐：「求められてないからこそやるんだ！これがウケれば、日本全国、いや、世界中が驚くんだぞ！」

---

## 第二幕：試作と試行錯誤

---

（舞台は試作キッチン。汐と塩田が開発担当者  
者の作業を見守っている）

試作担当者：「ええと、ビーフシチューを今川  
焼の中に詰めるんですね…？」

汐：「そうだ！ できるだけ中にたっぷり詰め  
てくれ。味のインパクトを最大限に活かすん  
だ！」

塩田：「ちょっと待ってください、本当に詰め  
込んで大丈夫なんですか？ 生地が破れたり  
しませんか？」

試作担当者：「確かに生地の強度が…でも、  
やってみます。」

（試作担当者がビーフシチューを慎重に詰め  
ていく）

汐：「ほら、こうやって詰めるんだよ。肉の柔ら  
かさと、あの生地のもちもち感…最高だろ？」

塩田：「社長、どう見ても普通じゃないですよ……。しかも、シチューが垂れてきてます……。」

試作担当者：「確かに、シチューが流れ出しますね……。味が濃厚すぎるかも。」

汐：「いやいや、これでいいんだ。シチューが垂れるのも美味しさの一部だよ！」

塩田：「いや、ただの失敗にしか見えないんですけど……。」

---

### 第三幕：社内試食会

---

（舞台は社内試食会。社員たちがテーブルに並べられたビーフシチュー今川焼を不安そうに見つめている）

社員A：「社長の新作、今回もまた変な感じだな……。食べてみる？」

社員 田：「まあ、せっかくだし、食べないと怒られそうだしな…。」

（社員たちが恐る恐る今川焼をかじると、驚きの表情になる）

社員 〇：「う、うわ、何これ！ シチューが急に  
出てきた！」

社員 ヲ：「甘いと思ったら、しょっぱい…。でも  
…なんだかクセになるかも？」

社員 田：「確かに、最初はびっくりしたけど、  
何か…もう一口いきたい気もする。」

（塩田が呆れつつも反応を見守る）

塩田：「意外と社員は好意的…？ でもこ  
れ、本当に一般の人にもウケるんでしょう  
か？」

汐：「もちろんだ！ 次は外の人にも食べても  
らう。しかも、海外も含めた試食会だ！」

塩田…「え、いきなり海外まで？ 国内での反応を見るだけじゃダメなんですか？」

汐…「世界に向けて発信するのが成功の鍵なんだよ！」

---

#### 第四幕…試食会の準備

---

（舞台は試食会の準備風景。会場スタッフが準備を進める）

塩田…「本当に大丈夫なんですか？ 海外のお客さんも来るのに…彼ら、ビーフシチューなんて日本の今川焼で食べると思ってませんよね？」

汐…「そこが狙いだ！ 海外の人にとっても、意外性こそが記憶に残るんだ。」



マーケティング部長…「でも、社長。市場調査では、今川焼はやっぱり甘い系が人気です。ビーフシチュー味が響くかどうかは未知数です…。」

汐…「だからこそ、先手を打つんだ。誰もやってないからこそ、俺たちが世界をリードするんだよ！」

塩田…「海外のゲストの反応が怖いです…。彼らの味覚って、結構違いますから。」

汐…「大丈夫、大丈夫！ みんな楽しんでくれるさ！」

---

### 第五幕…国内外試食会の波乱

---

（舞台は試食会会場。招待客たちが会場に入り、今川焼を手にする）

日本人試食客A:「新作の今川焼だって！  
甘いのかと思ったけど…ビーフシチューって書  
いてある？」

日本人試食客B:「え？ 甘い系じゃないの？  
でも、食べてみるか。」

(日本人試食客たちが一口食べ、驚いた表  
情になる)

日本人試食客A:「うわ、しょっぱい！？ で  
も、なんか悪くないかも…。」

日本人試食客B:「確かに、普通じゃないけ  
ど、これ結構イケるよ！」

(次に、海外のゲストたちがビーフシチュー今  
川焼を手取る)

アメリカ人ゲスト:「これは何だ？ 甘い  
パンにビーフシチュー？」

塩田 (通訳):「これは甘い今川焼ではなく、

ビーフシチュー味なんです！」

アメリカ人ゲスト：「面白い！ 食べてみるよ。」

（アメリカ人ゲストが一口食べると、驚いた表情）

アメリカ人ゲスト：「これは…予想外！ でも、いい意味で！」

イギリス人ゲスト：「こんなに変わった今川焼は初めてだ。まさか、ビーフシチューがバンの中に入っているなんて！」

（場内が活気づき、みんながビーフシチュー今川焼を楽しむ）

塩田：「あ、意外と海外の方も喜んでますね…。」

汐：「見ろ！ 俺の言った通りだろう？ 驚きと楽しさが必要なんだ！」

## 第六幕：マーケティング部の驚き

---

（試食会后、社内のマーケティング部が結果をまとめる）

マーケティング部長：「社長、驚くことに、あのビーフシチュー今川焼がSNSでバズってます！国内外でロコミがどんどん広がっています！」

塩田：「えええ！？ そんなことあるんですか！？」

（塩田、SNSを確認しながら驚きの表情）

塩田：「ほら、海外のインフルエンサーが写真付きで投稿してますよ…！ これ、どうして人気なんでしょう？」

汐：「見たか、塩田！ 常識を破る発想が、新しい市場を切り開くんだ！」

---

### 第七幕…次なる挑戦

---

（汐のオフィス。成功を祝うムードの中、次なる商品開発が始まる）

塩田：「社長、まさかとは思いますが、次は普通の甘い今川焼を…？」

汐：「甘い今川焼？ そんなのありきたりだろう。次は、ピザポテト今川焼だ！」

塩田：「えええ！？ また変なもの！？」

汐：「面白きことも無き世を面白く、だろ？」

塩田…（ため息）「やっぱり社長には勝てない  
…。」

（舞台が暗転し、笑い声と共に幕が降りる）

---

## 【エンディング】

汐の奇抜な発想に振り回されつつも、塩  
田や社員たちは次の挑戦へと向かう。ビ  
ーフシチューー今川焼は予想外の大ヒット  
となり、汐製菓の挑戦は続いていく…。